

食育・地産地消専門委員会では、幼いうちからお米に慣れ親しんでもらい、お米の大切さやおいしさを伝えていこうと市内各地の保育園等を訪問しており、5回目の実施となりました。

今回はくしびき西部保育園を訪れ、「お米磨ぎ」、「お米炊き」、「おにぎりづくり」の体験をしてもらったほか、「つや姫体操」などを行いました。



11月4日、専門委員会の委員はくしびき西部保育園を訪問し、年長児24人と交流しました。「お米のこともっと知ってもらいたい、大好きになつてもらいたい。」そんな想いから始めた食育教室。5回目となる今回も、元気いっぱいの子供たちと素敵な出会いがありました。

「この機械わかる？」
初めに、米作りについてパネルを使って説明しました。



お米炊き体験



お米磨ぎ体験

「はい、はい。」と元気な声と一緒にたくさんの手があげられます。「そうだね、トラクター。よぐわがるね。」キラキラした目で答えてくれる子供たち。みんなにおいしく食べてもらいたいと農家が愛情込めて一生懸命作っていることを話しました。

「食育・地産地消専門委員会」活動報告

「みんなで作るおにぎりや姫おとぎし」
くしびき西部保育園で食育教室を開催

次に、おにぎりづくりは米磨ぎ体験から。

「グー・パー、グー・パー」と手を握ったり開いたりしながら磨いでね。」と教えると、「気持ちいい！楽しい！」と笑顔で取り組んでくれ、水も手を添えながら上手に捨てることができました。

米の炊きあがる様子は透



つやひめ体操



おにぎりづくり

明な鍋で観察。ぶくぶく泡が出る様子や、漂う香りを体感してもらいました。
.....
「あつちえさげ、気をつけれのう。」

炊き立てのつや姫を子供たちの両手に広げたラップに乗せます。初めは戸惑った様子でしたが、丸や三角はもちろん、いろいろな形のおにぎりを作ってくれました。

そしてオリジナルの「つや姫体操」で元気いっぱい体を動かした後、「いただきます！」とみんなで食事。子供たちの中には三つも四つも食べる子もいて頼もしい限りです。食事をしながら、好きな食べ物や友達のことなど、たくさんお話をしました。

お別れのあいさつで「ごはん大好きな人！」と質問すると、「はい！」と全員手をあげてくれました。うれしかった！

(農業委員 齋藤英道)